

[招待講演]

身体動作から行為を切り出す方法論

日高 昇平[†]

身体運動は複雑な相互作用を行う大自由度系である。我々は単に特定の物理的な機能を果たす動作を行うだけでなく、身体の自由度を生かしてさまざまな「意味」を伝え、また読み取る。単に運動あるいは動作ではなく、意味や意図を伴った行為を、我々はどのように同定しているのだろうか。本発表では、フラクタル次元に基づき身体状態をクラスタリングする分析法を提案し、この手法の適用により身体動作からそれに潜在する意味的な単位(行為)の分節化を試みる。基本的な単位である行為の分節化について、参加者と共に、理論からその含意、および更なる実験的発展について議論したい。

[†]北陸先端科学技術大学院大学